

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)9月20日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A23011
部門分類：150 野菜
発信者名：川村、那須、木村、中村、坂尾、大崎

JA レーク滋賀管内みおしずくグループ設立

イチゴ新品種「みおしずく」の本格市場出荷が令和5年12月から開始されるにあたり、当課と高島農産普及課は関係機関と連携し、JA レーク滋賀管内の市場出荷販売体制によるイチゴ産地の育成を目的にした8経営体による共同販売グループの設立を支援しました。

滋賀県が育成したイチゴの新品種「みおしずく」の生産が令和5年から本格化し、県一産地を目指した市場等を通じた新たな共同出荷体制の構築に向けて、JA レーク滋賀管内の市場出荷者の組織化を支援しました。以前から大津・南部地域で市場出荷に向けて活動していた生産者組織「びわこいちご」グループの「みおしずく」生産者に加え、今まで直売や観光摘み取り園で販売していた生産者や新規就農者など「みおしずく」生産者全員に市場出荷に向けた取り組みを促し、4個人と4法人が参加を表明されました。また、JA レーク滋賀が流通販売体制の整備、農産普及課が栽培技術指導やグループの活動支援を担うことになりました。8月22日には生産者とJAが合わせて22名集まり、「JA レーク滋賀管内みおしずくグループ」が設立され、イチゴ産地の育成に向けてスタートを切ることができました。

令和5年12月以降このグループから約22,000パックの「みおしずく」が共同出荷される見込みです。今後も、当課と高島農産普及課で協力し、イチゴ産地育成のため市場出荷販売体制の構築とともに「みおしずく」の生産拡大を推進していきます。



JA レーク滋賀管内みおしずくグループ設立総会